

# PENTAX®

**Z-70P** QUARTZ  
DATE  
(Zマウント)

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。Z-70r [Zメイト] は撮影条件に合わせてピクチャーモードを選ぶだけで簡単にいろいろな撮影を楽しむことができるオートフォーカス一眼レフカメラです。

また、フィルム途中でのパノラマ／標準撮影の切り替え・パワーズーム・プログラムシフト・動体予測など多彩な機能を備えています。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

#### 「林檎の秘密」

#### すぐに役立つ写真の基礎知識



露出の仕組みや光の測り方、ピントの合わせ方など写真の基礎を豊富なイラストと作例でわかりやすく解説しています。

お求めは、ペンタックスサービス窓口・ペンタックスファミリーまたは、最寄りのカメラ店で。

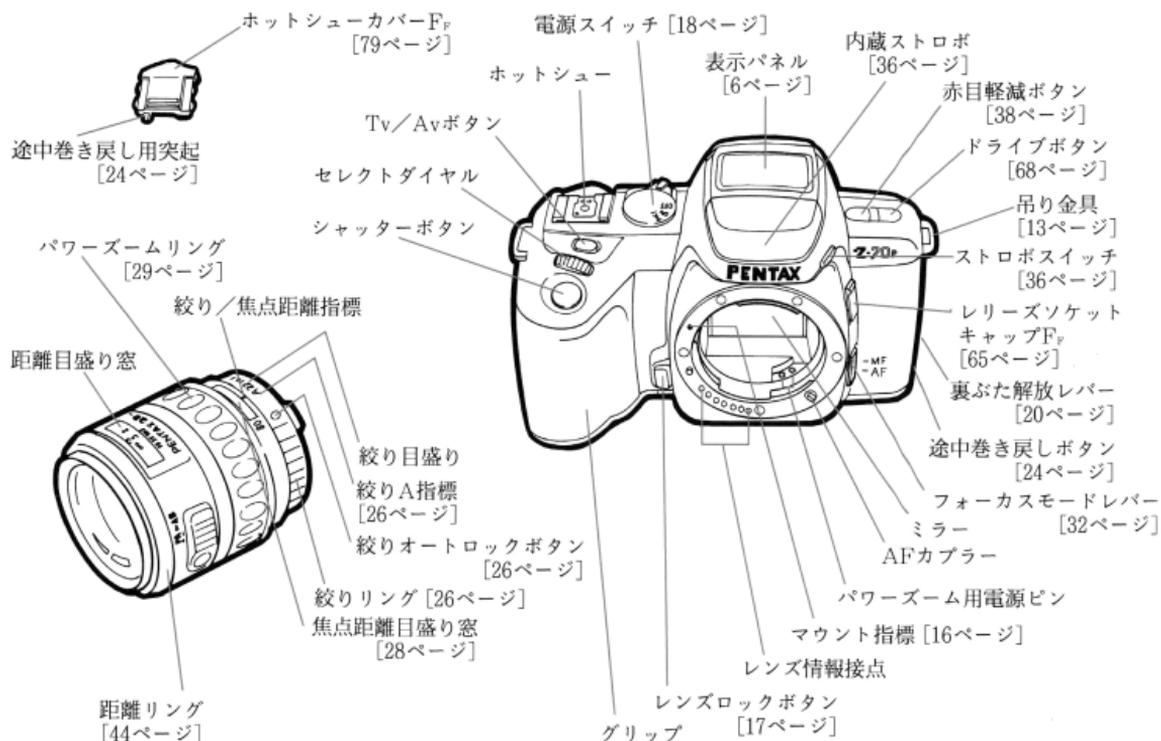
#### 記号について

操作の方法	←
自動的に動きます	←---→
注目してください	⊙
点滅します	☀
正しい	○
間違い	×



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

# 各部の名称①



## カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、1 ページにある下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

### ⚠ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

### ⚠ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

⊘ は、禁止事項を表わすマークです。

⚠ は、注意を促すためのマークです。

### ⚠ 警告

- ⊘ カメラを分解しないでください。カメラ内部には高電圧部があり、感電の危険があります。
- ⊘ 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ⊘ ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ⊘ 太陽を直接見ないでください。長時間見ていると目を痛めることがあります。特にレンズ単体で直接太陽を見ないでください。失明の原因になります。
- ⊘ カメラを水に濡らさないでください。感電の危険があります。
- ⚠ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

### ⚠ 注意

- ⊘ 目の近くでストロボを発光させないでください。目を痛めることがあります。特に、乳幼児にはご注意ください。
- ⊘ 電池をショートさせたり、火の中に入れてください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ⚠ カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

①

## 取り扱い上の注意

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- 防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い震動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの震動は、クッションなどを入れて保護してください。

- レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなる場合がありますが、撮影した写真には影響ありません。
- 高性能を保つため、1~2年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
- カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

②

# こんな写真を撮るには？



## ピント関係

- 画面の中央にない物にピントを合わせたい .....35
- ピントの合う範囲を変えて写真を撮りたい .....58



## ストロボ関係

- 暗い所で写真を撮りたい .....36
- ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい .....38
- 逆光の人物の顔を明るく写したい .....74
- 夜景をバックに人物を撮影したい .....75
- 結婚式など広い室内で写真を撮りたい .....79



## ズーミング関係

- 写したい物の大きさを大きくしたり小さくしたりしたい .....28



## 露出[明るさ]関係

- カメラ任せでなく明るさを自由に覚えて写真を撮りたい 61、66
- 逆光の人物の顔を明るく写したい .....74



## 人物撮影関係

- 集合写真を撮りたい .....40
- 人物撮影で人物を浮きたたせたい .....40
- 自分自身も写真に写りたい .....68
- 逆光の人物の顔を明るく写したい .....74
- 夜景をバックに人物を撮影したい .....75



## 風景撮影関係

- 風景写真を近くから遠くまできれいに撮りたい .....41
- 夜景を撮りたい .....64
- 夜景をバックに人物を撮影したい .....75



## その他

- 写真に日付を入りたい[消したい] .....19
- 動きの速いスポーツ写真を撮りたい .....42、56
- 花などを近くで撮りたい .....43
- 横長のダイナミックな写真[パノラマ]が撮りたい .....49
- 動きのあるものを連続的に撮影したい .....68

③

# 目次

取り扱い上の注意 .....2	基本的な使い方[撮影] .....25~43
こんな写真を撮るには？ .....3	グリーンモードに合わせます .....25
表示パネルの表示ガイド .....6	撮影方式について .....27
ファインダー内の表示ガイド .....7	ズームレンズの使い方 .....28
使い方は簡単です .....8	カメラの構え方 .....31
マウントについて .....10	ピントの合わせ方を選びます .....32
各種レンズを組み合わせたときの機能 .....11	オートフォーカスでピントを合わせて撮影します .....33
説明書の構成について .....12	• フォーカスロック撮影について .....35
カメラの準備と基本操作 .....13~24	内蔵ストロボの基本的な使い方 .....36
ストラップを取り付けます .....13	• 赤目軽減機能について .....38
電池を入れます .....14	ピクチャーモードを使いましょう .....39
• 電池が消耗した場合 .....15	• 人物モード .....40
レンズを取り付けます .....16	• 風景モード .....41
シャッターボタンの操作 .....18	• 動体モード .....42
電源スイッチの操作 .....18	• 近接モード .....43
写真に日付や時刻を写し込みます .....19	
フィルムを入れます .....20	
フィルムの巻き戻しについて .....23	

④

応用的な使い方	44~89
手動によるピント合わせ	44
オートフォーカスの苦手な物	46
パノラマ撮影	49
各露出モードを選びます	52
• プログラム自動露出の使い方	54
• プログラムシフト	55
• シャッター優先自動露出の使い方	56
• 絞り優先自動露出の使い方	58
• マニュアル露出の使い方	61
• バルブの使い方	64
露出補正について	66
撮影方式を選びます	67
• 連続撮影	68
• セルフタイマー撮影の使い方	68
電子音を消します	70
内蔵ストロボについて、もっと知りたい方へ	71
• F・FAレンズの内蔵ストロボ適合表	73

日中シンクロについて	74
低速シンクロについて	75
データバックの電池交換	76
日付や時刻の修正	77
外付けストロボの使い方	79
• 光量比制御シンクロ撮影	82
専用アクセサリ[別売り]について	83
カメラケース[ソフトケースFcp]	85
絞りとシャッター速度の効果	86
被写界深度	88
赤外線指標について	89
その他について	90~99
こんなときは?	90
主な仕様	92
プログラム線図	94
お問い合わせは次の各サービス窓口へ	96
アフターサービスについて	99

## 表示パネルの表示ガイド



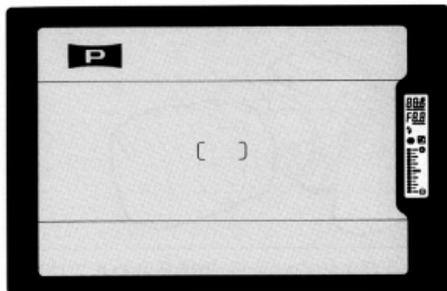
### LCD[液晶]表示について

- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

- P : プログラム自動露出マーク [54 ページ]
- A : シャッター優先/絞り優先自動露出マーク [56、58 ページ]
- Av : Av[絞り]マーク
- M : マニュアル露出マーク [61 ページ]
- 2000 : シャッター速度表示
- 32 : 絞り表示
- ☺ : グリーンモードマーク [26 ページ]
- 👤 : 人物モードマーク [40 ページ]
- 🏞️ : 風景モードマーク [41 ページ]
- 🏃 : 動体モードマーク [42 ページ]
- 📷 : 近接モードマーク [43 ページ]

- 📊 : バーグラフ [61、66 ページ]
- 📺 : Tv[シャッター速度]マーク
- 👁️ : 赤目軽減機能マーク [38 ページ]
- 📷 : 連続撮影マーク [68 ページ]
- 📷 : 1コマ撮影マーク [67 ページ]
- 🕒 : セルフタイマーマーク [68 ページ]
- 📷 : ストロボ情報マーク [36 ページ]
- 8.8 : フィルム枚数/露出補正值表示 [22、66 ページ]
- 📷 : フィルム状態マーク [22 ページ]
- 🔋 : 電池消耗マーク [15 ページ]
- 🔊 : 電子音マーク [70 ページ]

## ファインダー内の表示ガイド



- ※ ファインダー内の線は、パノラマ撮影をする際のパノラマ視野枠になります。
- ※ サービスサイズのカラープリント[パノラマプリントを含む]では、画面周辺の物がプリントされないことがあります。構図に少し余裕を持たせてください。

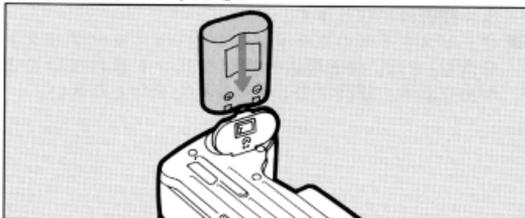
- : パノラマシグナル[49 ページ]
- : オートフォーカスフレーム[AFフレーム][33 ページ]
- 2000** : シャッター速度表示
- F32** : 絞り表示
- : ストロボ情報マーク[36 ページ]
- : 合焦マーク[ピント情報][33 ページ]
- : 露出補正マーク[66 ページ]
- : バーグラフ[61、66 ページ]

パノラマシグナル について  
標準撮影のときは、パノラマシグナル が消えていることを確認してください。

⑦

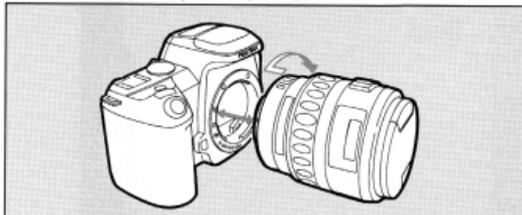
## 使い方は簡単です！[とにかく撮影してみたい方のために]

### 1) 電池を入れてください



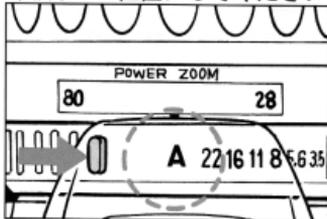
電池ふたを開いて、リチウム電池 **2CR5** 1本をカメラの表示に合わせて入れます。[14 ページ]

### 2) レンズを取り付けてください



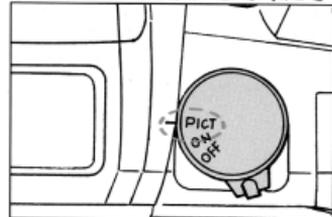
レンズとカメラのマウント[赤点]指標を合わせてはめ込み、右に止まるまで回してロックします。[16 ページ]

### 3) 絞りをA位置にしてください



レンズの絞りオートロックボタンを押しながら、絞りをA位置に合わせます。[26 ページ]

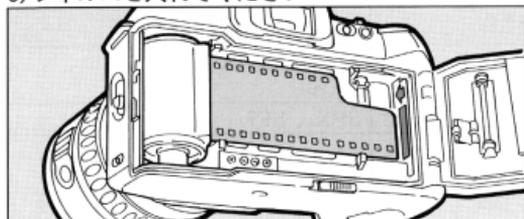
### 4) グリーンモードにしてください



電源スイッチを **PICT** [ピクチャーポジション] に合わせグリーンモードにします。[26 ページ]

⑧

### 5) フィルムを入れてください



カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、フィルム先端を赤色のフィルム先端マークに合わせて裏ぶたを閉めます。自動的に1枚目まで巻き上がります。[21 ページ]

### 7) 写すものの大きさを決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したいものを好みの大きさにしてください。[28 ページ]  
標準撮影では、ファインダー内の [ ] が消えていることを確認してください。

### 6) オートフォーカスモードにしてください



フォーカスモードレバーを [AF] に合わせます。[32 ページ]

### 8) ピントを合わせて撮影してください



写したいものをAFフレーム [C] に合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。[33 ページ]

9

## マウントについて

### カメラ・レンズのマウントについて

マウントの分類名称	レンズ分類名称	カメラ代表機種名
① K <sub>AF2</sub> マウント	ペンタックスFAレンズ	Z-70 <sub>F</sub> 、Z-1 <sub>F</sub> 、Z-5 <sub>F</sub> 、Z-20 <sub>F</sub> 、Z-50 <sub>F</sub>
② K <sub>AF</sub> マウント	ペンタックスFレンズ	SFX <sub>N</sub> 、SF7
③ K <sub>A</sub> マウント	ペンタックスAレンズ	スーパー-A、P30 <sub>F</sub>
④ Kマウント	ペンタックスMレンズ およびペンタックスレズ	LX、K1000
⑤ スクリューマウント	SMCタクマーレンズなど	ESII、SP

①～④のレンズはKマウント[バヨネット式]です。

①～②ではオートフォーカスが可能です。

③～④ではマニュアルフォーカスになります。

⑤は旧タイプのねじ込み式レンズですから、①～④のカメラへは、マウントアダプター-Kを使って取り付けます。

①～③は絞りリングにA[オート]位置が付いています。

ペンタックスFAレンズはKマウントレンズに以下の機能が追加されたもので、従来のKマウントカメラにも使えるようになっています。

- パワーズーム用電源ピン
- AFカプラー
- レンズ情報接点

### Kマウント互換イメージ図

K <sub>AF2</sub> マウントレンズ		K <sub>AF</sub> マウントレンズ	
• パワーズーム用電源ピン	• AFカプラー	• AFカプラー	• レンズ情報接点
• AFカプラー	• レンズ情報接点	K <sub>A</sub> マウントレンズ	
		• レンズ情報接点	Kマウントレンズ

10

# 各種レンズを組み合わせたときの機能

機能	レンズ [マウント名]	FAレンズ [K <sub>AF2</sub> ]	Fレンズ [K <sub>AF</sub> ]	Aレンズ [K <sub>A</sub> ]	Mレンズ [K]	Sレンズ [P]
オートフォーカス(レンズ単体使用)		○	○	×	×	×
(AFアダプター1.7×使用)		—	—	○注1	○注1	×
マニュアルフォーカス(FI表示の利用)注2		○注3	○注3	○注3	○注3	×
(マウント面の利用)		○	○	○	○	○
パワーズーム		○注4	×	×	×	×
プログラム自動露出		○	○注5	○	×	×
絞り優先自動露出		○	○	○	○注6	○注6
シャッター優先自動露出		○	○注5	○	×	×
マニュアル露出		○	○	○	○注6	○注6
プログラムTTLオートストロボ撮影		○	○	○	×	×
TTLオートストロボ撮影		○	○	○	○	○
ピクチャーモード		○	○	○	×	×
分割測光(中央部と周辺部の2素子)		○	○	○	×	×
絞りA位置以外の絞り目安表示		○	○	×	×	×

注1：レンズの開放F値がF2.8および、それより明るいレンズのみ。[AFアダプターの説明書をご覧ください。]

注2：ファインダー内の合焦マーク  に従って行なう手動のピント合わせ。[FI=フォーカスインジケーター。]

注3：レンズの開放F値がF5.6および、それより明るいレンズのみ。

注4：FAズームレンズのみ。

注5：Fレンズのソフト85mmF2.8を除く。

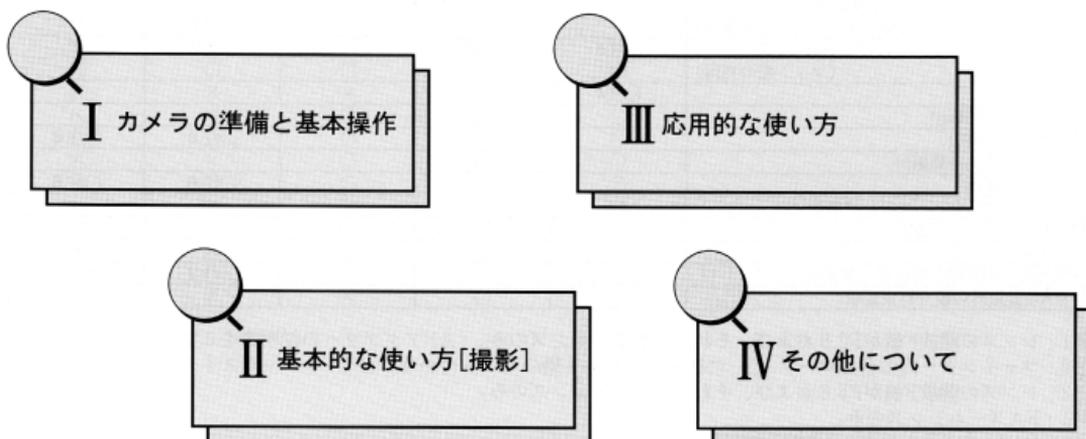
注6：絞りA位置はありませんので、セレクトダイヤルでの絞りセットでは使用できません。

注7：中央重点測光になります。

11

## 説明書の構成について

説明書を効果的にご使用いただくために、次のような構成になっています。



- とにかく撮影をしてみたい方は「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方[撮影]」をお読みください。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。

12